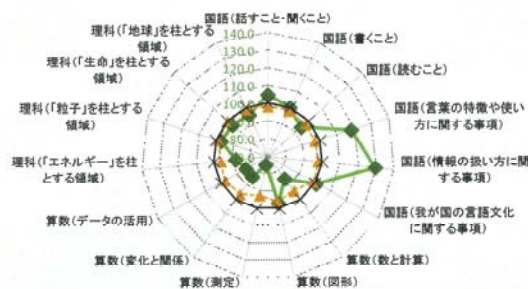


## ○ 教科に関する調査の状況

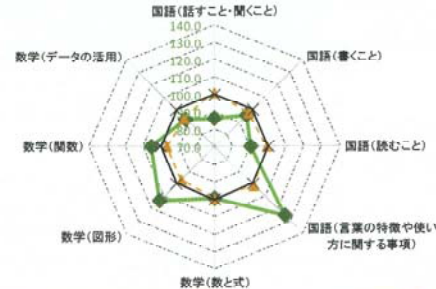
## 【レーダーチャート】

- ・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)
- ・中学校理科の結果は、IRTSスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

## 小学校



## 中学校



## 【平均正答率・平均IRTSスコア】

|         | 小学校  |      |      | 中学校  |      |     |
|---------|------|------|------|------|------|-----|
|         | 国語   | 算数   | 理科   | 国語   | 数学   | 理科  |
| 妹背牛町    | 70   | 50   | 54   | 52   | 49   | 479 |
| 北海道(公立) | 65.4 | 55.2 | 56.3 | 54.0 | 46.7 | 505 |
| 全国(公立)  | 66.8 | 58   | 57.1 | 54.3 | 48.3 | 503 |

※中学校理科は平均IRTSスコア

## ★教科に関する調査結果の要因★

小学校国語の平均正答率が全国及び全道を上回っている状況は、漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかに関する問題についての正答率が高いことが、要因の一つとして考えられる。

中学校数学の平均正答率が全国及び全道を上回っている状況は、グラフから必要な情報を読み取ることができる図形・関数の問題の正答率が高いことが、要因の一つとして考えられる。

## ★今後の改善方策★

◎1人1台端末を効果的に活用した授業づくりの推進

◎公設塾との連携により、家庭学習習慣の確立及び自主学習サポートを行うとともに、学ぶことの楽しさを感じられる環境づくりの推進

◎全国学力・学習状況調査の結果を活用し、学力や学習状況の評価・分析を基にした授業改善の推進

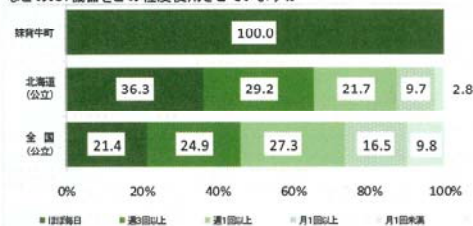
◎児童生徒の授業の理解度等に応じた指導方法の工夫改善を図ることによる、児童生徒一人一人の資質・能力を確実に育成する取組の推進

## ○ 質問調査の状況

## 小学校

## &lt;学校質問&gt;

児童同士がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



## 中学校

## &lt;学校質問&gt;

生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



## 小学校

## &lt;児童質問&gt;

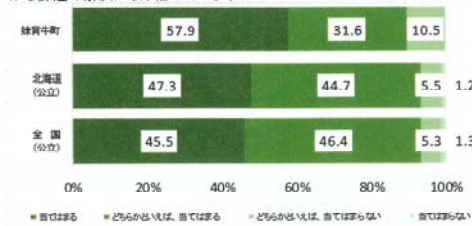
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



## 中学校

## &lt;生徒質問&gt;

授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか



## 小学校

## &lt;児童生徒質問&gt;

算数[数学]の授業の内容はよく分かりますか



## 中学校



## ★質問調査結果の分析★

小学校において、児童同士がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日使用したことにより、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますと回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

中学校において、生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を週1回以上活用したことにより、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。